

# 喫煙の危険性、禁煙の有効性を学ぶ

府在宅保健師の会総会・研修会



府在宅保健師の会総会・研修会は、6月1日（水）に府国保連合会で開かれ、37名の保健師が出席した。



午前の研修会では、京都府立医科大学医学研究科地域保健医療疫学准教授の繁田正子氏と京都第一赤十字病院看護部保健師の石川信仁氏が、「卒煙 新時代来る！～今だからできる簡単で効果的な介入方法～」と題した講演及び演習を行った。講演では、実際にスモーカーライザーで喫煙者と非喫煙者の呼気中の一酸化炭素濃度を測り、測定値の違いを示しながら喫煙の危険性及び禁煙の有効性について説明した。



また、演習では、2人1組となり喫煙者への指導をロールプレイで実践しながら、指導上の注意事項や禁煙者に出てくる体調等の変化について説明した。研修会場には指導媒体の展示もあり、参加者は様々な知識を得た。

午後の総会では、廣野会長の開会挨拶、本会中森事務局長の来賓挨拶の後、協議事項で平成22年度業報告、平成23年度事業計画及び歳入歳出予算、会則の一部改正、また平成23年度の役員体制について事務局より説明があり、すべて承認された。

